

(提案書 様式①)

協働の機会提案書(継続用)

平成 27 年 9 月 24 日

印西市長 板倉 正直 様

(登録者) 登録番号 20 — 001
 名 称 NPO 法人 エコネットちば
 所在地 印西市竹袋
 代表者 齋藤 敏男 ⑩
 連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

課 題 (前年度の実施を踏 まえた課題)	水辺と花の咲くひょうたん島池広場は、年々訪れる人々が増えて、景観を楽しみ、地域コミュニケーションの場となっている。皆さんの癒しの場となった竹袋調整池と周辺地域、その環境保全の維持管理を継続。
提案理由	市の水生公園構想により整備された、竹袋調整池と周辺地域は恵まれた景観の水辺の場であり、癒しと安らぎを求めて訪れる人が年々増加している。四季を通して花を楽しみ、水辺に飛来する野鳥の観察でこころ和む環境を維持して、市民のふれあい拠点にする。
提案内容 (前年度の実施を踏 まえた改善内容)	四季の花による花畑の整備、対象地域の定期的な草刈、日々のごみ清掃等の実施による、快適な環境保全と景観維持。 1. 花畑の整備、 2. 周辺地域の定期的草刈、 3. 日常随時のごみ清掃、
貴団体の特性、協働 で実施するメリット	エコネットちばは地元で活動する NPO で、地域住民、地元町内会・商店会、学校関係や他市民活動団体とも連携して、ひょうたん島池広場の花畑作りやイベントを実施してきた。多くの地域住民に参加・協力得るとともに、行政とも協働することで住民の関心が高まる。
継続実施により 得られる効果や 目指す将来展望	企画提案型協働事業に提案して七年目を実施中である。年を追うごとに花畑の整備も充実してきた結果、訪れる人々からのお褒めや感謝の言葉をいただいている。また、高齢者介護施設の散歩コースにも利用されてリハビリと癒しに役立っている。ひょうたん島池広場でのイベントも地域住民が参加協力により盛り上がり定着してきた。今後もよりよい地域コミュニケーションの場になるように更に充実した維持管理を継続する。

(提案書 様式②)

協働事業計画書			
事業名	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業		
事業の目的	竹袋調整池と周辺地域を年間通して維持管理し、いつもきれいで気持ちよく利用できる水辺の憩いの場を市民に提供する		
事業期間	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して 記すか、希望を記す)	提案者	市	
	☐ 定期的な草刈 ☐ 花畑の整備 ☐ 樹木の管理 ☐ 日常随時のごみ清掃 ☐ 排水口のごみ除去	☐ 維持管理の相談・協議 ☐ 植栽管理の指導・助言 ☐ 花の種の提供	
事業に要する 経 費 ※詳細については、様式③による	50,000 円		3,060,000 円
対話方法 市との協議や打ち合わせ方法	計画段階での協議・調整と実施中における相談・報告・協議		
協働事業の効果 (各立場にとっての効果を 簡潔に)	提案者	市民	市
	水辺の憩いの場が地域コミュニケーションの拠点になり、ひとが人を呼び、周辺地域も巻き込みまちづくりの展開が期待できる。	年間通してきれいな水辺を憩いの場として利用でき、癒されると共に、ふれあいの機会が広がる。	市民に愛される魅力ある地域拠点ができ、市民サービスが向上する。更に、維持管理経費が削減できる。
広報の方法	広報いんざい、市のHPの活用やケーブルテレビ、地域ミニコミ誌等への情報提供、ホームページや現地案内看板による案内・周知。		
評価の方法	日常の来訪者やイベント来場者への感想、要望等を聴き、次年度への参考にするとともに、市へも報告して協働に役立てる。		
備 考	関係課・関係団体等 ： 都市整備課		
	その他		
添 付 書 類	・ 竹袋調整地関係図面 ・ 年間スケジュール(H27 年度版)		

(提案書 様式③)

企画提案型協働事業経費内訳書

事業に係る見積り積算金額 金 円

無償分を含めた金額 (金 円)

【歳入】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額		
その他収入		
提案者負担分		
無償労働力等換算金額		()
合 計 (無償分を含めない)		円
無償分を含めた合計額		()

【歳出】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
提案者が負担する 無償労働力	〇〇〇円×〇〇時間×〇〇人×〇〇日＝〇〇〇円	(円)
提案者が負担する 無償機材等	〇〇〇円×〇〇日＝〇〇〇円	(円)
提案者が負担する その他の材	〇〇〇円×〇〇日＝〇〇〇円	(円)
合 計 (無償分を含めない)		円
無償分を含めた合計額		()